

日本学術会議の活動状況等に関する年次報告
(令和5年10月～令和6年9月) 作成の方針について (案)

1. 目的

社会に対して広く1年間の日本学術会議の活動について明らかにするとともに、外部評価有識者による外部評価の基礎資料とするため、令和5年10月から令和6年9月までの日本学術会議の活動状況を報告する資料を作成する。

2. 構成

- ・構成については例年どおり、「第1編 総論」と「第2編 活動報告」に分冊する。
- ・「第1編 総論」を10月総会において配布する。(第1編、第2編ともHP掲載)
- ・今期最初の年次報告となることから、日本学術会議の活動に関する記述においては、「第26期アクションプラン」又は「今期開始に際しての所感」などを記載することとしてはどうか。

第1編 総論

表紙、日本学術会議憲章、目次

第1. 日本学術会議会長挨拶【光石会長】

第2. 日本学術会議の活動

<特集>

1. 会員任命問題に関するこれまでの経緯【光石会長】

2. 日本学術会議の在り方に関するこれまでの経緯【日比谷副会長】

3. 日本学術会議第26期アクションプランについて【光石会長】

<部・委員会等における主な活動>

4. 政府、社会に対する提言及び市民との対話【磯副会長】

5. 国際的活動【日比谷副会長】

6. 科学者ネットワークの構築【三枝副会長】

7. 日本学術会議を支える3つの科学部門

① 第一部（人文・社会科学）【吉田部長】

② 第二部（生命科学）【神田部長】

③ 第三部（理学・工学）【沖部長】

8. 若手アカデミー【若手アカデミー代表】

第3 活動記録

1. カレンダー

2. 一年間の規定改正について

(参考) 声明「科学者の行動規範」(抄)

第2編 活動報告

表紙、目次

1. 日本学術会議の概要（組織の概要）

2. 組織ごとの活動報告

(1) 総会

(2) 幹事会及び附置委員会

(3) 部

(4) 機能別委員会

(5) 課題別委員会

(6) 分野別委員会

(7) 地区会議

(8) 若手アカデミー

3. インパクトレポート

3. 今後のスケジュール

7月25日 年次報告検討分科会

執筆依頼（→8月26日×切）

9月 年次報告検討分科会（年次報告案の確認、年次報告案の修正）

10月21日 総会（年次報告第1篇の配布）